

保護者説明会記録（大石）

日時：2025年9月3日（水）19時～20時

場所：大石小学校 多目的ホール

参加者：17名

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山コンサルタント

- ・義務教育と小中一貫校の違いは？

→小中一貫校は建物が統合するだけで、小中学校は別のまま、2つの学校が連携する形式。義務教育学校はそれをもっと発展させた9年制で考え、法律上も1つの学校として統合し、9年間一体で運営する形式。

義務教育学校は、学校運営が一つにまとまるので、先生たちの連携がスムーズになる、行事やカリキュラムを自由に組めるので、地域や子どもに合った教育ができる、9年間で一体的に学べるので、子どもが安心して成長できるといったメリットがある。一方で、教員にとっては小中学生両方の授業を担当するなど負担がかかる点もある。

- ・どのくらいで再配置が完了するのか？

→早ければ5年程度で完了予定。

- ・早ければ5年後に、新設小中学校が運用されるということか？

→その通りです。

- ・学童は小中学校内につくることになるのか。

→小中学校敷地内にするのかどうか、今後、継続して検討予定。

- ・スクールバスは有料か無料か？

→無料です。

→AI デマンド交通で、柔軟に運行することも検討していきたい。

- ・小中一貫になると、大きな行事はどうなるのか？

→1～9年生全体で実施する行事も出てくる。分けた方が良い行事、一体的にやった方が良い行事と、柔軟な対応で行う予定。

- ・小中一貫になると、部活動はどうなるのか？

→香春思永館では6年から中学校の部活に参加しているとのこと。

- ・中学校は去年から制服が変わったが、小中一貫校になったら制服も変わるのか？

→今後の検討となる。

- ・現在、小中学校でそれぞれ先生がいるが、小中一貫校になるにあたって、先生の配置は変わるのか？

→基本的には、児童生徒数で学級数がきまり、割り当てられる教員数が決まっている。但し、再編の特例として、教員を加配する制度があるので有効活用していく。

以上